

# れんめい和歌山

石田 まさひろさんが次期参議院議員選挙の  
組織代表に内定！

## 第 41 号

発行所

和歌山県看護連盟

和歌山市西浜1014-27

看護研修センター内

電話 073-446-5189

FAX 073-446-5205

発行責任者

谷 眞 子

印刷所 野田印刷株式会社



石田まさひろさんと谷会長

## 平成 24 年度和歌山県看護連盟通常総会にあたり

和歌山県看護連盟 会長 谷 眞 子

いよいよ本格的な夏の訪れとなり、節電のため工夫が求められるこのごろです。

昨年は、東日本大震災や和歌山県では台風 12 号による水害等自然災害に見舞われ、忘れられない 1 年となりました。まだ復興の道筋が見えない状況に胸が痛む思いが続きます。平成 24 年度は、6 月 15 日（金）の日本看護連盟通常総会・決起大会に続き、和歌山県看護連盟通常総会と政策推進集会を 7 月 7 日（土）に開催することになりました。

看護連盟は、命と暮らしを守る看護職が働き続けられる社会とよりよい医療や福祉が実現できる政策提言、政策実現にむけて、「看護職の代表を国政に」をめざして、日本看護連盟前幹事長「石田まさひろ」氏を第 23 回参議院議員選挙候補予定者として活動を推進しているところです。

石田まさひろ氏は、「看護が国民に広く行き渡れば、人々の生活の質は向上し、幸福な社会になる・・・争い多き社会を共生の社会へかえる力を看護はもっている・・・」、看護の持つ力を発揮するために、看護の環境を変える、ひいては社会を変え未来を創るために、一人でも多くの看護職と肩を組んで努力をしたいと全国遊説中です。

石田まさひろ氏の思いは、私たち看護職の思いでもあります。総会では、石田まさひろ氏の「看護の未来」をテーマにした講演を予定しております。多くの会員にご参加いただき、「石田まさひろ」氏の思いを聞いて、看護の力を抑制している法律や制度を変え、看護職が自信と誇りをもって持てる力が発揮できる社会づくりのために、「ベッドサイドから政治を変える～看護職の代表を熱伝導で、国政の場へ～」をスローガンに会員以外の看護職にも働きかけて組織を強化し、看護の力を結集しましょう。



### 日本看護連盟 会長 清水 嘉与子

新緑の美しい候となりました。6 月には日本看護連盟としては最も重要な次期参議院選挙候補予定者を決める 24 年度総会を迎えます。本部が推薦する候補予定者は前看護連盟幹事長の石田昌宏さん。東大卒の保健師・看護師で、臨床実践後、国会議員秘書、看護協会政策担当、看護連盟幹事長と、まさに政治家になるための道を歩いてきたような経歴の持ち主です。野田総理は今国会で消費税率引き上げ法案を含めた社会保障と税の一体改革を断行することを明言しています。人口減少、超高齢社会へ突入するわが国の社会保障制度については不断の見直しが必要です。看護連盟は医療や福祉制度のなかで大きな役割りを果たしている看護職の声を是非国会に届けたいと活動を続けてきましたが、3 年前の選挙では代表を送ることができなかったため現在参議院では高階恵美子議員が孤軍奮闘しています。ここに石田議員を送ることができれば、十分な活躍が期待できましょう。頑張って参りましょう。



### 衆議院議員 あべ 俊子

和歌山県看護連盟の皆様、いつも温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。  
さて、第 180 回通常国会も残すところあとわずかとなりました。東日本大震災から 1 年以上経過しましたが、被災地の復興にはこの先長い年月が必要な状況です。少しでも円滑に復興を推し進めていくため、限られた予算を必要ところに重点的に配分することを目指し、今国会ではしっかりと発言を続け、委員会等での質問の機会も度々いただくなど、政策提言の実現に向け日々奔走してまいりました。  
また看護職の労働環境の改善といった日々の看護に直結する課題をはじめ、医療における患者の意思決定のための法整備（尊厳死法案）や女性が仕事と家庭を両立するための施策（学童保育の法的整備）のような、看護職を取り巻く諸課題に対してもこれまで以上に精力的に邁進してまいり所存です。  
そしていよいよ来年は参議院議員選挙の年となります。国政に皆さんの願いを託すことができる看護の仲間をもう一人増やせるよう、候補者である石田まさひろさんへの温かいお力添えを心よりお願い申し上げます。



### 参議院議員 高階 恵美子

和歌山県看護連盟のみなさま、こんにちは。高階恵美子です。  
今国会は、社会保障と税の一体改革など、国家の根幹に係る案件を審議する重要な場であるはずですが、具体策が示されない中身のない空論が繰り返され、成果の出せない政府に対する不安全感が高まるばかりです。  
このような時こそ地に足の着いた活動を心がけていかなければならないと、改めて気を引き締めています。看護の目と耳で、社会の様々な課題を見つけ出し、それを解決していくために皆様とともに力を合わせて真摯に取り組んで参ります。  
特に将来のわが国にふさわしい社会保障の体制整備については、今この時点で熟慮を重ね、準備をしておかなければ間に合いません。私たち看護職は、専門職として、実践に根差した理論に基づくしっかりとした政策提言を行って参りましょう。社会保障の実現者である看護職の一人一人の気づきの声とアイデアが今後のわが国の安全・安心な暮らしをともし灯りとなると信じています。私は国政の場で灯りをともし役割を務めて参ります。

## 第23回参議院議員選挙候補予定者が内定

# 石田 まさひろさんの紹介



### 石田 まさひろの主な経歴

- ・ 1967 年（昭和 42 年）  
奈良県大和郡山市生まれ
- ・ 兵庫県の甲陽学院高等学校卒業
- ・ 東京大学医学部保健学科卒業
- ・ （保健師・看護師資格取得）
- ・ 看護師として聖路加国際病院、  
東京武蔵野病院で勤務
- ・ 衆議院議員公設秘書経験
- ・ 日本看護協会では政策企画室長な  
どを務める
- ・ 日本看護連盟では幹事長などを務  
める

## 石田まさひろの政治姿勢

- ◆ 徹底した現場主義
- ◆ 徹底した情報発信
- ◆ 徹底した未来志向



## 「石田まさひろ政策研究会」ホップ

平成24年 4月12日 施設訪問 3施設 感想文

### 日赤和歌山医療センター

- ・看護と政治のつながりを実感することができた。
- ・変化を起こしてくれそう。期待できる。
- ・今まで考えたことのない視点・大きな視点で考えてくれている。
- ・実感のある政策に期待する。
- ・看護師のことをよくわかってくれている人だと感じ、投票しようと思った。
- ・主張が明確で、直接対話することで、いっそう安心感が増し、応援しようという気持ちになった。
- ・あいかわらずパワフル・パワーを感じた。
- ・説得力がある。政策通だと感じた。
- ・政策が斬新で、政略的だと感じた。
- ・実現してほしい。頼もしいと感じた。



### 和歌浦中央病院

お越しいただき、ありがとうございました。現場の事もよく理解されていて慕われる兄貴分という感じでした。国会の場で現場からの発想・スピード感・実証・次のステップに導いて下さい。頑張ってください。

スタッフ一同



### 済生会和歌山病院

- ・今まで訪問に来てくれた人は挨拶だけで終わっていたが、今回病院で働く私達の希望することを聞いてくれて嬉しかったです。
- ・聞いたことをメモをとってくれているのを見て、自分達の意見を真剣に受けとめてくれていると実感しました。
- ・感じが良い。年も近いし、応援したいと思った。話しやすいイメージで良い。
- ・同じ男性看護師として応援したい。
- ・私達の意見を聞いてくれて、石田さんが考えていることも話してくれたので、自分達の思いが伝わり実現しそうな気がする。
- ・看護師なので、私達の話がよく理解してもらえるので良かった。
- ・子供のいる看護師が夜勤をしながら働き続けることの大変さや人手不足のことなど実際困っていることを聞いてもらい、看護師が元気で働き続けられるよう、私達の代表として頑張してほしい。



## 「石田まさひろ政策研究会」ホップ

平成24年 4 月12日 施設訪問 3施設 感想文



### 橋本市民病院

- ・実際の現場を視察していただいてとても感謝しています。当院だけでなく、現場の声だけでなく、耳を傾けていただけることの期待します。
- ・実際の現場を見ていただけたので文字から読み取るだけでなく、よくわかってもらえたのではないかと思います。同じ職業人なので、すごく期待しております。
- ・現場を見てもらえることはとても良いことだと思います。私は実際外からみてどうだったのかの評価もお聞きしたいと思います。
- ・看護の現場をよく理解した方が政策に声を反映させていただけると心強い。石田さんを応援します。
- ・政治にかかわる方が現場を見に来ていただけることは非常にうれしいことです。
- ・スタッフより実物はカッコ良いんですねと声がありました。回ってもらえて、皆にも刺激になったと言っていた。
- ・「何か困っていることはないですか」と聞いてくれてうれしかったです。看護職が増えるように活動をしてほしいとお願いしました。現場の様子をきかせてもらって、よかったと言ってくれました。

### 県立医科大学付属病院

印象としては、思ったより男前、背が高い、シールよりは実物の方がよい。話をした感想は、親身になって聞いてくれる感じがした。行動力はあるように見受けられた。今回は限られた部門の看護師しか、話を聞くことやお会いできなかったが、今後はもっとアピールすることができれば、認知度や好感度がアップできると思います。現場の問題を聞いていただき、看護師の問題も理解してもらえる機会ができ、今後も看護師のために活躍をしていただきたい。（稲田）



### 公立那賀病院

当院へお越しいただき、大変光栄です。石田先生にお会いでき、看護職員の先生に対する期待が、さらに高まったようです。

#### <職員の感想>

- ・はつらつとされていて、活気が伝わってきた。
- ・言葉をかけてもらってうれしかった。
- ・いろいろ意見を聞いていただけた。
- ・「さわやかな人」の印象だった。
- ・意見は必ず聞いていただけると感じた。ぜひとも当選して、ご活躍いただきたいと期待しています。





## 「石田まさひろ政策研究会」ホップ

平成24年 4月29日 対話集会

県内3ヶ所において対話集会を行いました。

- プラザホープ 10:00～11:00
- 御坊商工会議所 13:00～14:00
- 紀南文化会館 15:00～16:30



### 石田まさひろ対話集会に参加して

日本赤十字社和歌山医療センター 大江 美佐子

4月29日、プラザホープにおいて、和歌山県議会議員「看護を考える会」部会長、山田正彦・和歌山選挙区第1支部長 門博文両氏をお迎えして、石田まさひろ対話集会が行われた。参加会員数は、132人であった。来賓のお二人から、「正しいことをするには力がある。力は数である。いまこそ団結・結集が必要である」と応援の挨拶があった。続いて、石田氏のスピーチが行われた。石田氏は、看護の人手不足の問題には、たとえば、院内保育だけでなく、院内学童保育の導入や、定年の引き上げや、潜在看護師の働くための動機付けとするための、免許の更新制度の導入などウルトラ C 的な対策が必要であると述べられた。さらに、医療の現場の問題を社会に伝え議論していくことや、家庭や社会のセルフケアの力を回復させるような努力の必要性についても述べられた。また、現場の看護が元気になり、そのことで、患者やその家族、ひいては、地域、日本が元気になる社会を作っていきたい。人のため、社会のためにがんばる人が、尊敬される社会を目指す。自身が医療・福祉の現場で働く看護師の代表であり、国民の代表であると考えてほしいと決意を述べられた。

集会は、最後に二人の会員から、応援メッセージをおくり終了した。

参加した会員からは、斬新でもあり、具体的でわかりやすく、イメージできる政策に、真剣に聞き入っている様子がうかがえ、熱気を感じられる時間であった。



平成24年度和歌山県看護連盟通常総会は、7月7日(土)です。  
皆様のご参加をお待ち申し上げます。

## 平成 24 年度和歌山県看護連盟通常総会プログラム

月日：平成 24 年 7 月 7 日 (土)

場所：勤労福祉会館プラザホープ

|       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 12:20 | 開場                                   |
| 12:55 | オリエンテーション                            |
| 13:00 | 開会                                   |
|       | 物故会員への黙禱                             |
|       | 会長挨拶                                 |
|       | 来賓祝辞 来賓紹介 祝電披露                       |
| 14:10 | 特別講演 テーマ 「看護の未来」                     |
|       | 講 師 第 23 回参議院議員選挙候補予定者<br>石田 まさひろ 先生 |
| 15:00 | 議長団選出                                |
|       | 報告事項 1. 平成 23 年度通常総会報告               |
|       | 2. 平成 23 年度日本看護連盟主催会議報告              |
|       | 3. 平成 23 年度県役員・関する委員会合同会議報告          |
|       | 4. 平成 23 年度研修会報告                     |
|       | 5. 平成 24 年度日本看護連盟通常総会代議員報告           |
|       | 審議事項 第一号議案 平成 23 年度活動報告 (案)          |
|       | 第二号議案 平成 23 年度決算報告 (案)               |
|       | 第三号議案 平成 23 年度会計監査報告                 |
|       | 第四号議案 平成 24 年度スローガン (案)              |
|       | 第五号議案 平成 24 年度活動計画 (案)               |
|       | 第六号議案 平成 24 年度予算 (案)                 |
|       | 第七号議案 規約一部改正について (案)                 |
|       | 第八号議案 第 23 回参議院議員選挙対策                |
|       | 第九号議案 役員選出                           |
|       | 新・旧役員挨拶                              |
|       | 綱領宣言                                 |
| 16:30 | 閉会                                   |

### 第四号議案

平成 24 年度スローガン (案)

「ベッドサイドから政治を変える！」

～看護職の代表を熱伝導で、国政の場へ～

## 第五号議案

## 平成 24 年度活動計画（案）

## 重点目標

### 強力な集票力をもつ

## 重点活動

1. 支部活動の強化と獲得目標数を確実なものにする。
2. 会員一人一人が自立し活動できる。
3. 若手会員の政治参加を促進する。
4. 政治に関心の薄い看護職の政治参加を促進する。

| 項目          | 目 標                        | 活 動 内 容                                                                                                                                               | 推進機関                                          |                                              | 活 動 推 進 方 法                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|             |                            |                                                                                                                                                       | 県                                             | 支部                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 政治力の強化      | 1. 看護政策に関する議論を活発に行える環境をつくる | ①会員への情報提供を効果的に<br>行う。<br>②「現場の声」を国会・地方<br>議員に積極的に伝える。<br>③看護現場の課題を議員と共有<br>する。<br>④看護現場の課題を社会に伝え<br>る。<br>⑤地方議員を支援する。<br>⑥自民党県連政務調査会へ看護<br>現場の課題を伝える。 | ○<br><br>○<br>○<br>○<br><br>○<br>○            | ○<br><br>○<br>○<br><br>○<br>○                | ・本部の看護政策に関する情報を集会や施設訪問等を利用して発信する。<br>・機関誌「れんめい和歌山」の充実<br>・「現場の声」の収集・分析し政策に反映<br>・看護問題に関心が高い国・地方議員との勉強会や意見交換会を開催<br>・「看護を考える会」県議会議員との交流<br><br>・看護を支援する国会・地方議員や地域住民との日常関係を強化する。<br>・後援会活動<br>・県看護協会と看護政策について課題を共有                                                        |
|             | 2. 看護職の国会議員を増やす。           | ①第 23 回参議院議員選挙に<br>向けた活動を行う。<br><br><br><br><br><br>②次期衆議院選挙に向けた体制<br>を整備する。                                                                          | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br><br>○<br>○<br>○ | ○<br><br>○<br>○<br>○<br>○<br><br>○<br>○<br>○ | ・候補予定者と活動の周知<br>第 1 回ホップ 4 月 12 日（木）<br>第 2 回ホップ 4 月 29 日（日）<br>政策推進集会 7 月 7 日（土）<br>第 1 回ステップ H25.1/7（月）8（火）<br>・「石田まさひろ政策研究会」入会の促進<br>会員が紹介者となり確実な名簿の作成<br>・和歌山県獲得目標数 3,200 票獲得するための支部活動<br>・県別会議 11 月 3 日（土）<br>・都道府県リーダー研修 11 月 3 日（土）<br>・後援会活動、選挙応援<br>・岡山 3 区の応援 |
|             | 3. 国会・地方議会への影響力を強める。       | ①地元選出国會議員・地方議員<br>との勉強会を実施する。<br>②地元選出国會議員・地方議員<br>の主催する会合へ出席                                                                                         | ○<br><br>○<br>○                               | ○<br><br>○<br>○                              | ・地方議員を講師に勉強会の開催<br><br>・議員の主催する会合に出席<br>・看護を支援する自民党国會議員・地方議員への選挙応援                                                                                                                                                                                                      |
| 強力な集票力を持つ組織 | 1. 支部組織の充実・強化              | ①支部組織を整え、充実・強化<br>をはかる。<br>②支部の主体的活動の促進<br>③支部役員・連絡員の意識<br>強化<br>④目標達成を目指した支部活動                                                                       | ○<br><br>○<br>○<br><br>○<br><br>○<br>○<br>○   | ○<br><br>○<br>○<br><br>○<br><br>○<br>○<br>○  | ・本部モデルに基づき支部組織を確立する。<br>・施設内連絡員・支部委員の数を充実<br>・施設内連絡員意識強化<br>施設内連絡員研修（23 年度実施したリーダー研修未受講者対象）7 月 28 日（土）<br>・施設内連絡員・支部委員のネットワークの構築<br>・会議を定例化し、情報を共有する。<br>・都道府県別会議（11 月 3 日（土）<br>・役員・関する委員会での情報交換<br>・各支部での目標管理                                                         |

| 項目      | 目 標                             | 活 動 内 容                                                                                                               | 推進機関                                               |        | 活動推進方法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         |                                 |                                                                                                                       | 県                                                  | 支部     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|         |                                 | ⑤県看護協会地区支部との連携強化                                                                                                      | ○                                                  | ○<br>○ | ・目標達成を目指した日常活動<br>・協会・連盟支部合同研修会開催                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 組織の強化拡大 | 2. 会員の獲得と定着<br>(目標：県看護協会対比 37%) | ①連盟未加入者に対する入会の促進<br><br>②新採用者へ働きかけ<br><br>③退職者へ継続加入の働きかけ<br><br>④賛助会員の加入を促進<br><br>⑤学生会員の加入を促進                        | ○<br>○                                             | ○      | ・協会役員・委員の未加入者へ加入要請<br>・協会加入施設の看護管理者に協会と連盟について説明、連盟加入を呼びかける。<br>(看護協会施設訪問)<br>・新採用者へ説明加入を呼びかける<br>新採用者対象研修 5/31(木)、6/23(土)<br>入会案内・DVD の活用・アンフィニ雑誌<br>・退職者に個人会員として入会を促進する。<br>・規約一部改正：特別会員<br>・看護に協力して頂く議員、知人、親戚、OB に働きかける<br>・会員が個人的に身近なところで働きかける                                                                                                            |
|         | 3. 看護管理者の意識を高める                 | ①看護管理者トップセミナーの開催(参加型)<br><br>②看護管理者訪問                                                                                 | ○                                                  | ○      | ・看護部長対象ワークショップ<br>・会員非会員を問わず参加を促す(看護協会入会施設の看護管理者に呼び掛ける)<br>・看護連盟本部の看護政策と活動の情報提供                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|         | 4. 若手会員の育成                      | ①青年部の組織化の推進<br>②青年部活動の促進<br>③ポリナビワークショップ in 和歌山開催                                                                     | ○<br>○<br>○<br>○                                   |        | ・青年部主催研修会開催(非会員も参加可)<br>・青年部委員会開催を定例化する<br>・若手会員の交流会<br>・若手会員間で情報の交換                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|         | 5. 学生会員の育成                      | ①学生会員が看護政策について理解を深める。                                                                                                 | ○<br>○<br>○                                        |        | ・アンフィニ等で情報提供<br>・ポリナビワークショップへの参加を呼びかける。<br>・看護学校訪問                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|         | 6. 会員一人ひとりが自立して活動できる。           | 研修の体系化<br>・新人看護職員研修<br>・新入会研修を含める<br><br>・全会員対象に政治意識の高揚<br><br>・連絡員の自主性促進<br><br>・施設内連絡員選挙対策セミナー<br><br>・看護管理者の意識を高める | ○<br><br><br>○<br><br>○<br><br>○<br><br>○<br><br>○ | ○      | ・新人看護職員対象研修 5/31,6/23<br>・支部・施設で新入会員へのオリエンテーションと基礎研修を実施<br>・続基礎研修を実施 各支部・施設<br>・男性看護師対象研修 7月21日(土)<br>・一般会員研修 9月15日(土)<br>講師 高階恵美子 先生<br>・個人・OB 会員懇親会<br>・協会地区支部・看護連盟合同研修<br>・通常総会特別講演 石田まさひろ先生<br>看護政策推進集会を兼ねて<br>7月7日(土)<br>・施設内連絡員研修(23年度未受講者対象)<br>7月28日(土)<br>・平成23年度リーダーセミナー受講者対象<br>本部・県共催 施設連絡員対象のセミナーの開催 11月3日(土)<br>・看護部長ワークショップ・セミナー<br>10月20日(土) |

| 項目         | 目 標                         | 活 動 内 容                              | 推進機関 |    | 活動推進方法                                                                                                                                      |
|------------|-----------------------------|--------------------------------------|------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|            |                             |                                      | 県    | 支部 |                                                                                                                                             |
| 組織の強化拡大    | 7. 活発な情報流通                  | ①「現場の声」を政策提言に反映                      | ○    | ○  | ・日本看護連盟ホームページ『現場の声』書き込みサイトの PR                                                                                                              |
|            |                             | ②「れんめい和歌山」年 3 回発刊                    | ○    |    | ・会員・賛助会員への情報提供（機関誌、Weekly 配布）                                                                                                               |
|            |                             | ③「石田まさひろ政策研究会」PR 号発刊                 | ○    |    | ・ホップの広報・「石田まさひろ政策研究会」の PR（会員・賛助会員への情報提供）                                                                                                    |
|            |                             | ④会員が連盟活動の理解を深め、活発な活動を促進するために情報提供を行う。 | ○    | ○  | ・メールマガジンの活用 月 2 回                                                                                                                           |
|            |                             | ⑤政治・選挙に対する理解を深め、行動する。                | ○    | ○  | ・アンフィニ機関誌年 4 回発刊雑誌個人送り                                                                                                                      |
|            |                             | ⑥看護職議員の活動の周知                         | ○    | ○  | ・ハンドブック、クリアホルダー公務員活動チラシを施設訪問・研修時に活用<br>・DVD、パワーポイントで継続学習する。<br>・あべ俊子・たかがい恵美子議員の国政報告の活用                                                      |
| 組織の適正な運営管理 | 1. 施設・支部・県協会と本部と連携した組織を推進する | ①活発な定例会議を通して本部・都道府県・支部の連携を強化する       | ○    | ○  | ・本部・近畿ブロック・県会議<br>本部総会 6 月 15 日（金）<br>都道府県会長会（4/13・6/15・1/24,25）<br>都道府県会長・支部長合同会議 6 月 15 日<br>県別会議 1 回 11 月 3 日（土）<br>ブロック別会長会議 1 回 3/1（金） |
|            |                             | ②協会との連携を強化し、意思疎通を図る                  | ○    | ○  | ・県・支部の会議<br>県役員・関する委員会 月 1 回<br>支部長会 年 2 回<br>支部委員会 2～3 月に 1 回                                                                              |
|            |                             | ③本部・都道府県・支部間の日常の意見交換を通して意思疎通を図る。     | ○    | ○  | ・連盟会議に協会役員出席<br>・県看護協会・連盟政策委員会で要望事項の検討                                                                                                      |
|            |                             |                                      |      |    | ・本部・県・支部の日常の連携を強化<br>本部役員講師依頼                                                                                                               |
|            |                             |                                      |      |    |                                                                                                                                             |
|            |                             |                                      |      |    |                                                                                                                                             |
| 会員の福祉      | 2. 事務局の運営を適正に行う             | ①会員を適正に管理する。                         | ○    |    | ・全国共通の会員管理システム<br>①会員登録 ②会員移動登録 ③研修会参加者入力                                                                                                   |
|            |                             | ②財政を適正に管理する。                         | ○    |    | ・会計監査実施 2 回<br>上半期（11 月）・決算期（4 月）                                                                                                           |
|            |                             | ③事務局運営の円滑化を図る                        | ○    |    | ・三役会議基本的に役員・関する委員合同会議前後の火曜日開催                                                                                                               |
|            |                             |                                      | ○    |    | ・業務日誌の申し送りを活用                                                                                                                               |
|            |                             |                                      |      |    |                                                                                                                                             |
|            |                             |                                      |      |    |                                                                                                                                             |
| 会員の福祉      | 1. 慶弔への対応                   | 規約に基づき慶弔を行う。                         | ○    |    | ・受賞者への祝い・物故会員への弔意・災害見舞い                                                                                                                     |
|            | 2. 諸問題への支援                  | 専門家と相談して対応                           | ○    |    | ・本部との連携で速やかに問題解決する                                                                                                                          |

## パワースポット〈和歌山城再発見〉

済生会和歌山病院 田中 祐子

和歌山城は、徳川御三家のひとつ紀州藩紀州徳川家のお城として全国的に有名です。

和歌山城に行ったことのある人はたくさんあると思いますが、今回は和歌山城再発見ということで、皆さんの知らない和歌山城の見どころを紹介します（知っている人ももう一度みて下さい）

### 1. 七福の庭

和歌山城の天守閣に登る途中の道に七福の庭（石の七福神）があります。この七福神はお城の本丸の中庭にありましたが、現在はここに移しています。中庭の名石を使い作られた由緒あるものです。七福神の姿に似た石が、七福神が宝船に乗り合わせたように並んでいます。これは、紀州藩始祖徳川頼宣公（家康の十子）が、藩の永久の隆盛を祈念して作られたものと伝えられています。吉宗もこの庭を眺めていたのでしょうか。

### 2. 石の刻印

和歌山城の石垣のうち、2110 個の石に刻印があることが分かっています。とくに、新裏阪周辺の坂の西方に続く石垣に、854 個という石の刻印が集中しています（和歌山城にある石垣の刻印の約 4 割がここに集中しています）。刻印のデザインは多種多様で、40 種以上が確認されており、家紋や省略文字、日付・人名と考えられるものもあります。

### 3. 殿様のにげ道

落城の際には殿様がにげられるよう殿様のにげ道があります。お城の裏側に門があり、そこからにげ道の通路があります。この道から北側に抜け、丘陵の西側をまわって南の不明門（あかずの門）から城外にでる手はずになっていました。



## 私の《リフレッシュ法》

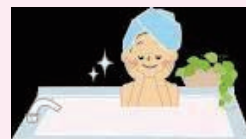
橋本市民病院 柏谷 恵子



避けたいと思っても、そうはいかないのがストレス。自分のストレス状態を早くキャッチし、自分なりの効果的な解消法をいくつか持つことが大切だと思います。

そこで、私のリフレッシュ法を御紹介します。

- ① 旅行
- ② 温泉（近場の入浴施設でも良い）
- ③ 友人との楽しい時間を持つ
- ④ 愛猫を触る（名前：柏谷リキ 性別：不明 手術の為〇〇がない）



書きながらつづく平凡だな、と感じますが、私には合っているようです。旅行は、カレンダーとにらめっこし、仕事の合間をくぐりぬけて計画を立てます。私のこだわりは感動の出来る景色です。心身ともに疲れているときは、きれいな自然の中に身を置くことが一番の癒しになるようです。とはいうものの頻回に旅行を計画するわけにはいきませんので、お手軽なのが入浴（出来れば広いお風呂）です。入浴はお湯につかった瞬間「あ〜」「ふう〜」のため息と一緒に汗以外の何かが出てゆくと感じます。



## 連盟からのお知らせ

### 石田まさひろ政策推進集会

開催日：平成 24 年 7 月 7 日（土）  
会場：勤労福祉会館プラザホープ

### 平成 24 年度 和歌山県看護連盟通常総会

開催日：平成 24 年 7 月 7 日（土）  
会場：勤労福祉会館プラザホープ  
特別講演：「看護の未来」  
講師：石田まさひろ  
第 23 回参議院議員選挙候補予定者

### 男性看護師研修

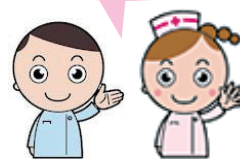
開催日：平成 24 年 7 月 21 日（土）  
会場：プラザホープ  
テーマ：「男性看護師としての  
キャリアアップについて」  
ねらい：男性看護師の特性を活かした  
キャリアアップについて考える。  
講師：東京大学大学院客員研究員  
前日本看護連盟幹事  
窪田 和巳 先生

### 平成 24 年度 連盟会員 入会受付中！

#### 年会費

|            |         |
|------------|---------|
| 日本看護連盟会費   | 5,000 円 |
| 和歌山県看護連盟会費 | 3,000 円 |
| 計          | 8,000 円 |

入会はいつでもできます。  
お待ちしております。



#### 編集 後記

今回は、次期参議院議員候補予定者石田まさひろ氏の活動（施設訪問・対話集会）を中心に広報しました。平成 24 年度和歌山県看護連盟通常総会で石田まさひろ氏の特別講演がありますのでご参加ください。また、「パワースポット」や「私のリフレッシュ法」等是非ご協力くださいましよう、皆さまの投稿お待ちしております。

広報委員 田中 小田垣 宮井 井堰 原

## 本物の豊かさ やさしく包み込まれる 楽園の寝心地

天然羊毛の中から厳選した原料を使ったムーントンアリエス40。1cmに5000本以上の毛が密生しているので、その1本1本がスプリングのように無数の点で身体を支えて、包み込むようなやさしい寝心地です。品質にこだわる東洋羽毛が自信を持ってお奨めする一品です。



東洋羽毛関西販売株式会社

大阪営業所 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-8-12

TEL 0120-88-2104

ホームページアドレス <http://www.toyoumo.co.jp>

和歌山営業所

〒640-8329 和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F

TEL 0120-32-7766